

UBar-200f-J2-2D(USB)-V2

●バーコードスキャナとRFIDリーダ・ライタを一体型

- ・1台でRFIDタグ付きリストバンド等、RFIDとバーコード両方の読み取りができます
- ・バーコードの情報を簡単にRFIDタグへ書き込めます

●USBバスパワー駆動

- ・ACアダプタ不要で手軽に使用できます

●低コストでの導入

- ・ハンディターミナルと比較し機能を絞り安価に提供できます

●キーエミュレートツール「RFID2KBD」

- ・「RFID2KBD」を使用することで検出したRFIDタグのIDやバーコードをキーボード入力に変換しメモ帳などに簡単に記録できます



■製品仕様

項目	説明	
製品名	UBar-200f-J2-2D(USB)-V2	
RFID	対応タグ通信規格	ISO18000-63/ EPC C1G2
	周波数	920.6~923.4MHz (15チャンネル)
	RF送信出力 ※1	200mW(ボタン操作により3段階調整)
	チャンネル選択機能	チャンネル固定、グループチャンネル選択
バーコード	アンテナ	内蔵(円偏波)
	方式	CMOS(2D)
読み取りコード	Code 128, Code 39, GS1 128(UCC/EAN-128), Codabar, Code 93, UPC-A, UPC-E, GS1 Composite, EAN-13, EAN-8, ISSN, ISBN, Interleaved 2of5, GS1DataBar(RSS) etc...	
ユーザーインターフェース	スイッチ × 3	
	ブザー	
	バイブレータ	
	LED × 2	
電源	USBバスパワー	
上位インターフェース	USB (仮想COM) ケーブル長1.9m コネクタAタイプ	
サイズ	116 × 54 × 22 mm	
質量	160g	
対応OS (USBドライバ※2)	■Windows Microsoft® Windows® 8/ 8.1, Microsoft® Windows® 10 ■Android USB ホスト機能を有する端末	
対応規格	ARIB STD-T107, RoHS2	

■自立動作モードと上位制御モードの2種のモードを搭載

機器のボタン操作で動作する自立動作モード、上位から制御で動作する上位制御モードの2種の動作モードを搭載

◆自立動作モード

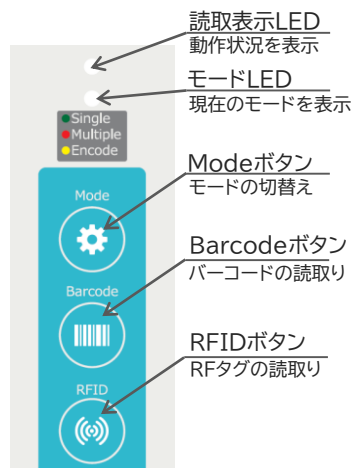
ボタン操作によりRFIDタグの読み取り(Single/Multiple)、バーコードの読み取り、バーコードデータのRFIDタグへの書き込み(書き込みモード)が行えます。

◆上位制御モード

Windows PCやアンドロイド端末から本機を制御できます。

- ・RFIDタグへのアクセス制御における特定領域のメモリへの書き込み等、リーダ・ライタに搭載しているほぼ全ての機能を利用できます。
- ・バーコードの読み取り、搭載UI(LED、ブザー、バイブレーション)の上位制御が行えます。
- ・本機のボタン押下を上位へ通知できます。

■機器の名称と機能(自立制御モード)



※1 USBバスパワーの駆動能力により送信出力が低下する場合があります。

※2 その他の対応OSについては、FTDI社のホームページをご参照ください。

※ QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

※ Windows は、米国Microsoft Corporation.の米国およびその他の国における登録商標です。

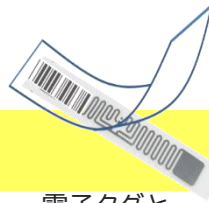
バーコード併用タグの発行/確認、POS



商品札/値札ラベル印刷



副資材
(電子タグなし下げ札)



電子タグと
セット化



バーコードを
スキャンし自動で、
電子タグに書き込み

UHF帯RFIDタグ付きかんばん

バーコード、ICタグアクセスが1台で可能です



UHF帯RFID 医療向け リストバンドタグ

バーコードのスキャン光が届かない状況での読取りができるため布団をめくる事無く読取りできます。



■UHF帯RFIDリストバンド

持出し・貸出し管理

RFIDとバーコードを併用して管理が行えます。



ICタグ付社員証



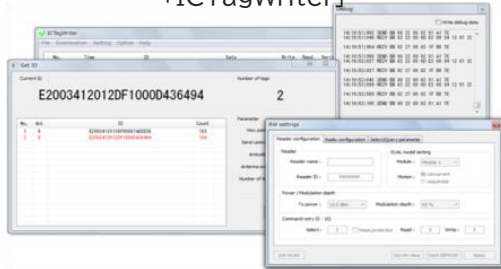
開発者支援キット

開発者支援キット(DK)は、機能検証とソフトウェア開発のためのRFID開発支援キットです。本体のほかに、サンプルアプリケーション、開発用ライブラリ(API)、コマンド仕様書、サンプルソースなどが同梱されております。

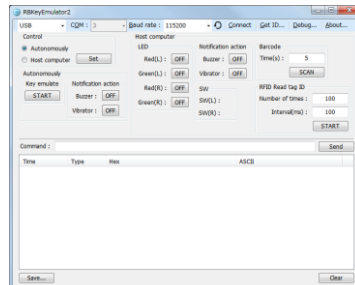
サンプルアプリケーション「ICTagWriter」は、UHFタグのエンコードが簡単に行え、メモリアクセスやリーダー・ライタの設定・機能が確認できます。UBar-200f-J2の開発者支援キットには上記と併せて本機用のアプリケーション「UBarTool」や追加のAPI仕様書、プロトコル仕様書が付属します。「UBarTool」は本機独自の機能検証が行えます。

「RFID2KBD」は検出したUHFタグのIDやバーコードの値をキーボード入力に変換し、メモ帳などに簡単に記録できるキーボードシミュレートツールになります。

DK付属サンプルアプリケーション「ICTagWriter」



UBar-200f-J2向けアプリケーション「UBarTool」



キーボードエミュレーションツール「RFID2KBD」



項目	内容
製品名	UBar-200f-J2-2D(USB)-DK
構成品	本体、CD-ROM、サンプルタグ
CD-ROM 1	UHFリーダー・ライタファミリDK
CD-ROM 2 (UBar-200f-J2専用)	アプリケーション「UBarTool」(Windows対応) ※1 セットアップガイド、追加プロトコル仕様書、追加API仕様書、取扱説明書
開示情報	API仕様※2、プロトコル仕様、サンプルソースコード(API利用)
開発環境(API使用時)	Microsoft® Visual Studio® .NET 2003以降(Visual C++, Visual Basic .NET, Visual C# .NET) Microsoft® Visual Basic 6.0

※1 Android向けの評価アプリケーションは付属していません

※2 Android向けのAPIはご用意していません。Android端末で制御する場合はFTDI社の「JAVA D2XX for Android API」とリーダー・ライタプロトコルを利用して開発が行えます。

[参考]

形状オプション品
Ubar-200f-2D(USB)-V1

サイズ:115 x 80 x 20mm



お問合せフォーム

E-mail: info@artfinex.co.jp



株式会社アートファイネックス
RFID東京事業部

〒101-0047 東京都千代田区神田1丁目7の4 晃永ビル 5F

株式会社アートファイネックスは、ソーバル株式会社からRFID事業を2015年3月31日付にて、譲受致しました。



仕様・外觀・製品構成は、改良のため予告なく変更する場合があります。最新の情報につきましては、弊社のRFIDサービス・製品情報ウェブサイトでご確認ください。
本製品は電波を使用したRFID機器の読み取り・書き込み装置です。そのため使用する用途・場所によっては、医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品を運用する際は、総務省、(社)日本自動認識システム協会及び関係団体の定める運用ガイドラインをご確認の上、適切にお取扱いください。「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」総務省(報道資料):平成30年7月